

ロシアによるウクライナへの 軍事介入の中止を求める

日本共産党の志位和夫委員長は3月30日、国会内で記者会見し、ウクライナ情勢について、つぎの見解を表明しました。

一、ロシアのプーチン大統領は一日、ロシア系住民や軍事、軍属を保護するとして「ロシア軍をウクライナ領内において、ウクライナの政治社会情勢の正常化まで使用する」と表明し、これをロシア上院も了承した。

一、ウクライナ政府の同意も国連安保理決議もない下で、ロシア軍を派遣し軍事介入を行うことは、ウクライナの主権と領土保全を侵害するものであり、明らかに侵略となる。わが党は、ロシアによる軍事介入の中止を求める。

志位委員長 ロシア大使と会談

日本共産党の志位和夫委員長は、3日午後、都内のロシア大使館で、エフゲニー・アフアナシエフ大使と会談しました。

志位氏は、会談の中で、日本共産党第26回党大会で決定し

一、ウクライナの問題は外部からいかなる軍事介入も排除し、ウクライナ国内の当事者間の対話で平和的に解決することが求められる。

た北東アジア平和協力構想について説明。

は、項目ごとにごメン



ながら、質問もし、北東アジアでの平和と安定をどう築いていくかについて意見交換しました。

これに対し、大使は、「ロシアの軍人・軍属保護のために必要だ」とロシア政府の立場を説明して、反論しましたが、志位氏の度重なる求めに、大使も、「日本共産党の見解は、本国政府に伝える」と述べました。

世界がロシアを批判

緊迫するウクライナ情勢を受け、1日、国連安全保障理事会が開催されました。各国の発言概要を紹介します。

【ウクライナ】セルゲイエフ大使

野蛮な侵略

ロシア軍部隊は既に、現地に配備され、その数は増大しつつある。これは侵略行為であり、ウクライナの一体性及び地域の平和と安定編重大な脅威だ。ロシアは1997年の条約に基づく2国間協議を

拒否し、国連憲章も侵害している。

【米国】パワー大使

クリミアでの軍事介入に深く困惑している。ロシアは介入を直ちに終わらせ、ウクライナの主権と領土保全を尊重しなければならぬ。ロシアがウクライナとの間で歴史的な関

係を持つていること認識し、尊重する。しかし、ロシアの行動は事態を後戻りできない事態に押しやりかねない。

【英国】グラント大使

緊張を懸念

ウクライナの主権と領土保全の侵害だ。ウクライナ新政府を支持し、同政府が少数派を含むすべての市民の権利を尊重するよう訴える。ロシアは情勢の鎮静化のための措置を直ちに取るべきだ。

【フランス】アロー大使

政治解決を

ロシア議会がウクライナ国内への部隊派遣を認めたことは、平和に対する危険な動きだ。当事者に自制を求め、関係国当局はすべてのコミュニケーションの平和と協力を補償するよう求める。